

焼き板

プログラムの概要・ねらい

杉の板を火で焼き、木目を生かした壁飾りを作る。焼き方と板の木目で一人一人違った趣の壁飾りができる。

自分だけのオリジナル作品を作ること、創意工夫する楽しさを体験することができる。

場所	野外炊飯場		
時間	2時間		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	何人でも(1カマド8人~12人が適当)
準備物	【利用者】軍手、新聞紙、ぼろ布、ライター、別紙「野外炊飯(準備・片付け)」参照 ポスカ、救急用品、活動に適した服装 【自然の家】材料(杉の板、ヒートン、ひも)、薪、タワシ、ペンチ、キリ		

①準備

別紙「野外炊飯準備・片付け」を参照し、事前準備をする。
 材料と野外炊飯場の鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。
かまどの網を下から2段目に設置する。

②実施の流れ

【時間】

- 0:00 作り方の説明
かまどに火を起こす。(別紙「火付け」参照)
- 0:30 かまどの網に板を乗せ(写真①)、両面が真っ黒になるまで焦がす。
(写真②)
※木端部分が焦げにくいので注意する。
※網の上で長時間焼くと網の跡が残るので、ずらしながら焼く。
※うまく焼けない場合は直接火の上に置いてもよいが、燃え尽きないように注意する。
- 0:45 板が真っ黒になったら、火バサミを使用して火から下ろす。
- 1:00 少し冷ましてから、新聞紙を敷いてその上でタワシを使って、「コゲ」を落とす。(写真③) **磨きは、炊飯場の机の上では絶対に行わない。**
- 1:15 **黒い粉が出なくなり、つやが出始めたら**新聞紙で磨く。新聞紙に黒い粉がつかなくなるまでが目安。
※仕上げにぼろ布で磨くと、さらにきれいに仕上がる。
- 1:30 最後に板にポスカで絵や文字を書く。壁掛けにする場合は、キリで穴を開け、ペンチを使ってヒートンを板に付け、ひもを通す。
※ポスカを使用する際は、新聞紙を敷く。
- 1:45 片付け
- 2:00 終了
- 備考 ※ハイキング等で採集した木の実や枝などを、クラフト室にてホットボンド等で取り付けてもよい。



③後片付け

別紙「野外炊飯(準備・片付け)」を参照し、片付けをする。
 余った材料、タワシ、ペンチ、キリ、野外炊飯場の鍵(ログハウスゾーンの場合は必要なし)を、サービスセンターへ返却する。
 破損等があった場合はサービスセンター受付に申し出る。